



あなたの学びが、
地域の力になる。

福島大学は2019年に
創立70周年を迎えます

教育復興シンポジウムVI

(アクティブ・ラーニング実践シンポジウムIV)

地域の未来を拓く創造的教育復興 ～アクティブ・ラーニングを通して 変えていく学びの形～

入場無料
・
申込不要

2019年3月2日土
13:00～17:00

福島大学・M3教室
(〒960-1296 福島市金谷川1番地 024(548)5151)

東日本大震災から約8年が経過し、各地において「復興」から「未来創造」の流れが加速化する一方で、地域や学校の存続をめぐって厳しい判断が求められる状況も露わとなっています。「福島県の教育復興を進める会」は一貫して「震災からの学びを生かすこと」を掲げており、また人間発達文化学類の「イノバティブ・ラーニング・ラボラトリ」は被災地における新しい教育開発をめざして活動してきました。

この度、二つのシンポジウムを合同で行うこととなりました。本シンポジウムでは、ESD (Education for Sustainable Development) の研究・実践を行っている法政大学の坂本旬教授*の講演を軸に、県内外の小学校、中学校、高校、そして地域での教育活動を射程に入れ、本県の未来の教育のあり方について大胆に切り込んでいきたいと思えます。

記念講演
(13:10～14:10)

ESD と教育改革 —被災地の学校での取り組みから—

坂本 旬 氏
法政大学キャリアデザイン学部

PBL (プロジェクト学習) を語る・学ぶ・考える

1 実践報告 (14:15～16:00)

- ①「白方小学校におけるアクティブ・ラーニング」 福島大学附属小学校 福本拓人先生
- ②「福井大学附属義務教育学校における PBL の取り組み」 福井大学附属義務教育学校 木下慶之先生 & 卒業生
- ③「岡山龍谷高校におけるグローバル教育」 岡山龍谷高校中山明先生 & 生徒
- ④「福島市を創る高校生ネットワークの取り組み」 福島大学学生 中島史弥 & チーム高校生

2 アクティブ・ラーニング・シンポジウム (16:10～17:00)

「先生と生徒、大学生で語り合う」

コーディネーター 三浦浩喜 (福島大学理事・副学長)

主催 大震災後の福島県の教育復興を進める会

(福島県市町村教育委員会連絡協議会、福島県都市教育長協議会、福島県町村教育長協議会、福島県 PTA 連合会、福島県小学校長会、福島県中学校長会、福島県公立学校退職校長会、福島大学人間発達文化学類同窓会、福島大学人間発達文化学類 イノバティブ・ラーニング・ラボラトリ)

共催 地方創生イノベーションスクール 2030 福島クラスター

問合せ先 福島大学人間発達文化学類支援室
TEL: 024-548-8101 mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp
〒960-1296 福島市金谷川1番地



国立大学法人
福島大学
Fukushima University